

## 出エジ12 出エジプト記8章20節～9章12節

### 「次の3つの災い」

#### 1. 文脈の確認

- (1) エジプトに主からの10の災いが下る。
- (2) 10の災いの記述は、考え抜かれた形式美を持っている。
- (3)  $3 \times 3 + 1 = 10$  という形式になっている。
- (4) きょうは次の3つの災いを取り上げる。
- (5) 補足説明：ヘブル語聖書では、8：1～4までは7章に入っている。  
8章20節は、ヘブル語聖書では8章16節である。
- (6) イスラエル国家誕生の背景、私たちの歴史でもある。s

#### 2. メッセージのアウトライン

- (1) 第四の災い：昆虫（あぶの群れ）（英語ではflies）の害
- (2) 第五の災い：疫病
- (3) 第六の災い：腫物

#### 3. きょうのメッセージは、私たちに何を教えているか。

- (1) 偶像礼拝の愚かさ
- (2) 信じる者に対する神の守り
- (3) イスラエルに対する姿勢

このメッセージは、人生そのものを考えさせるものである。

### I. 第四の災い：昆虫（あぶの群れ）（英語ではflies）の害

#### 1. 警告（8：20～23）

- (1) 各セットの中の最初の2つは、災いの前に警告が与えられる。
- (2) 各セットの中の1番目は、モーセが朝パロの前に立つ。
- (3) 「わたしの民を行かせ、彼らをわたしに仕えさせよ」
  - ①単なる解放ではなく、神とイスラエルの民の関係の構築
  - ②神は、礼拝する民を作ろうとしておられる。
  - ③幕屋、モーセの律法、使命
  - ④クリスチャンになった目的はなにか。

(4) もし拒むなら、「あぶの群れ」を送る。

①種々の昆虫

②パロの家から庶民の家まで、エジプト全土にあぶが満ちる。

(5) エジプトは、昆虫を崇拜した。

①昆虫には、死を命に変える力があるように感じた。

②蠅は、腐敗した物の中から誕生する。

③神の皮肉：「昆虫をそれほど信頼するのなら、すべて与えよう」

(6) 第4の災いから、イスラエル人とエジプト人の区別が始まり、最後まで続く。

「わたしはその日、わたしの民がとどまっているゴシェンの地を特別に扱い、そこには、あぶの群れがないようにする。それは【主】であるわたしが、その地の真ん中にいることを、あなたが知るためである」(22節)

## 2. 実行(8:24)

(1) 動作の主体：次の3つは、神の手

(2) 【主】が警告された通りになった。

(3) 災いの範囲：エジプト全土に広がったが、ゴシェンは守られた。

## 3. 結果(8:25~32)

(1) 災いの程度：次の3つは、苦痛なもの。

(2) パロの妥協(1)

①弱気になって来た。

②エジプト国内で、神にいけにえを捧げよ。

(3) モーセの答え

①それは、エジプト人の偏見と習慣から考えて不可能である。

②創46:34

③エジプトはイスラエル人を石で打つだろう。

④出エジプトの目的は、神の民となること。「【主】にいけにえをささげる」

(4) パロの妥協(2)

①荒野に行くことを許可する。

②ただし、決して遠くに行ってはならない。

③私のために祈ってくれ。

④ヤコ1:8

「そういうのは、二心のある人で、その歩む道のすべてに安定を欠いた人です」

(5) モーセの答え

①「私は【主】に祈ります」

\*執りなしの祈りを実践するモーセ。後にこれが必要になる。

\*エジプト人を苦境に置いておきたいという誘惑が働く。

\*敵のために祈る能力

②あす、昆虫（あぶの群れ）は離れる。

③重ねて欺かないように。

(6) モーセの祈りは叶えられた。

(7) パロはこの時も強情になる。

## II. 第五の災い：疫病（9：1～7）

### 1. 警告（9：1～5）

(1) 各セットの中の最初の2つは、災いの前に警告が与えられる。

(2) 各セットの中の2番目は、モーセはパロの前に立つが、時間は不明。

(3) 野にいる家畜に激しい疫病が下る。全滅ではない。

①小屋の中にいる家畜は、助かった。第六の災い（腫物で）苦しむ。

②馬は神性で、礼拝の対象。牛、雄羊なども同じ。

(4) イスラエルの家畜とエジプトの家畜は区別される。

①イスラエル人の家畜は一頭も死ななかった。

②マタ 10：29

「二羽の雀は一アサリオンで売っているでしょう。しかし、そんな雀の一羽でも、あなたがたの父のお許しなしには地に落ちることはありません」

(5) 時を定めてこれを行う。

①あす

②【主】の業であることが明白になる。

③自然現象をすべて支配しておられる【主】

### 2. 実行（9：6）

(1) 動作の主体：次の3つは、神の手。

(2) 災いの範囲：次の3つは、エジプトのみに下り、イスラエル人は守られる。

### 3. 結果（9：7）

(1) 災いの程度：次の3つは、苦痛なもの。

(2) イスラエル人の家畜は一頭も死んでいなかった。

(3) パロの心は強情になった。

### Ⅲ. 第六の災い：腫物（9：8～12）

1. 警告：各セットの中の3番目には警告はない。

2. 実行（9：8～10）

(1) 動作の主体：次の3つは、神の手。

①最初の3つは、アロンが杖を指し伸ばす。

②最後の3つは、モーセが杖を指し伸ばす。

③ここでは、モーセとアロンが「すす」を天に向けてまいているが、主体は神。

(2) エジプト全土の人と獣につき、うみが出る腫れものとなった。

①ゴシェンの地は守られた。

3. 結果（9：11～12）

(1) 災いの程度：次の3つは、苦痛なもの。

(2) エジプトの呪法師たちは、腫物のためにパロの前に立つことができなかった。

(3) 第5と第6の災いは、自然に消滅したと思われる。

(4) パロの心は頑なになった。

結論： このメッセージは、人生そのものを考えさせるものである。

1. 「偶像礼拝」の愚かさ

(1) 第4の災いによって裁かれた神

①Baalzebub ベルゼバブ（蠅の主。ベルゼブル）

\*マタ 12：24～32 参照

(2) 第5の災いによって裁かれた神

②Apis Bull エイピス・ブル（初子の聖牛。プター（Ptah）の生まれ変わり。野で飼われていた）

③Mnevis ムネヴィス（聖牛。太陽神ラー（Ra）の象徴）

④Knom ノム（雄羊の頭を持った神。創造神）

(3) 第6の災いによって裁かれた神

⑤Sekhmet セクメット（雌獅子の頭を持った女神。疫病を支配する。戦いと破壊の女神）

⑥Serapis セラピス（癒しの神）

⑦Imhotep イムホテプ（薬の神。実在の人物の神格化）

## 2. 神の守り

### (1) 出8：23

「わたしは、わたしの民とあなたの民との間を区別して、救いを置く。あす、このしるしが起こる」

①直訳は、「わたしの民とあなたの民の間に、贖いを置く」である。

②ノアの洪水の時：船の中の人々と外の人々

③マラ3：18

「あなたがたは再び、正しい人と悪者、神に仕える者と仕えない者との違いを見るようになる」

④3本の十字架

## 3. イスラエルに対する姿勢

(1) 10の災い自体がエジプトの反ユダヤ主義への裁きである。

(2) 「かまどのすす」

①レンガを焼くかまど（キブシャン）

②イスラエル人の苦難の象徴

③そのかまどから取られた「すす」である。

(3) 創12：3

「あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される」

①イスラエルを呪う者は呪われる。

②同じ種類の呪いが返る。

(4) 聖書研究からリバイバルが始まる。

①神の偉大さを認識し、たたえる。

②へブル的に聖書を読む。

③イスラエルを祝福する者となっていく。